

製品安全データシート

作成日：2008年10月14日

改訂日：2010年11月25日

1 製品及び会社情報

製品名：金属&メッキ保護剤 CA300-10090
会社名：株式会社ファルテック
住所：〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地
電話番号：044-520-0277
FAX番号：044-520-0521

2 危険有害性の要約

GHS分類：引火性液体：区分2
皮膚刺激性／刺激性：区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：区分2
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）：区分3（気道刺激性）

GHSラベル要素：



危険有害性情報：引火性の高い液体及び蒸気
皮膚刺激
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
環境影響：データなし

3 組成及び成分情報

単一、混合物の区分：混合物

表示成分および含有量：

成分名・化学名	含有量mass%	CAS No.	化審法No.	安衛法No.	PRTR法No.	毒劇法No.
アルコキシシラン	48%	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
アルミニウムキレート化合物	9.7%	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
トルエン	1.2%	108-88-3	3-2	407	第1種 300	非該当

※化審法 官報公示整理番号（化審法）

※安衛法 労働安全衛生法

表示物質：施工令第18条 名称等を表示すべき有害物質

通知物質：法第57条の2、施工令第18条の2別表第9 名称を表示すべき有害物質

第*種有機溶剤・第*種有機溶剤：施工令別表第6の2・有機溶剤中毒予防
有機溶剤中毒予防規則 該当する

※PRTR法 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PR
対象化学物質の政令番号

※毒劇法 毒物及び劇物取締法の政令番号

4 応急処置

- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で少なくとも15分以上洗浄し、医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに清浄な水で洗い流す。異常があれば医師の診察を受ける。
- 吸引した場合 : 不快感を覚えたら、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、安静にする。
もし、異常があれば医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに清浄な水で口の中を洗浄し、医師の診察を受ける。

5 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素
- 特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう注意する。
- 火災時の特有危険有害性 : 引火爆発の危険性がある。
- 消火を行う者の保護 : 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように、適切な保護具を着用する。

6 漏出時の処置

- 人体に対する注意事項、 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- 保護具及び緊急時措置 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。
- 回収方法 : 火気厳禁。
漏出した液は、ウエス、雑巾または土砂等に吸収させて空容器に回収する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した液が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 火気厳禁。
室内作業場では、換気を良くする。
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
高温物、スパークを避ける。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
使用後は容器を密封する。
- 保管上の注意 : 直射日光、高温を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
- 混触禁止物質 : 強酸化性物質、火源の近くに保管しない。
- 安全な容器包装材料 : ガラス

8 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
- 管理濃度 : 【作業環境評価基準】 50ppm (トルエン)
- 許容濃度 : 【日本産業衛生学会】 50ppm (トルエン)
- 保護具 : 保護眼鏡 (側板付き普通眼鏡型、又はゴーグル型)
保護手袋
有毒ガス用防毒マスク

9 物理的及び化学的性質

外 観 : 淡黄色透明液体
臭 気 : 溶剤臭
p H : 7.0±0.5 (中性)
融 点 : 該当せず
沸 点 : 82°C (アルコキシシラン)
引火点 : -10°C (アルコキシシラン)
爆発範囲 : 下限 : 1.4% / 上限 : 6.7% (トルエン)
蒸気圧 : 3.5kPa/25°C (トルエン)
比 重 : 0.97 (20°C)
溶解度 : 水に難溶 (加水分解性あり)
発火点 : 200°C以上 (アルコキシシラン)

10 安定性及び反応性

安定性及び反応性 : 水及び、酸、アルカリ化合物と緩やかに反応する (加水分解)。
避けるべき条件 : 日光、熱、裸火、高い温度、スパーク、静電気、その他発火源
混触危険物質 : 水及び、酸、アルカリ化合物
危険有害な分解性生物 : メタノール

11 有害性情報

【トルエンのデータ】

急性毒性 : 経口 ラット LD50 : 636mg/kg (RTECS)
吸入 ラット LD50 : 49mg/m³/4H (RTECS)
皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚刺激 ^{ウキ} 20mg/24H 中刺激性 (RTECS)
に対する重篤な損傷、刺激性 : 目刺激 ^{ウキ} 2mg/24H 中刺激性 (RTECS)
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : 発がん分類できない (ACGIH)
生殖毒性 : データなし
的臓器・全身毒性－単回暴露 : トルエンは、人に対して主に吸入によって速やかに吸収され中枢神経系に作用し、50-100ppmで疲労感、眠気、めまい、軽度の呼吸器系への刺激をもたらす。(CERIハートデータ集 96-4(1997))
的臓器・全身毒性－反復暴露 : トルエンは、薬物依存性があり、嗜好的吸入により視野狭窄または眼振や難聴を伴う頭痛、振戦、運動失調、記憶喪失といった慢性的中枢神経障害が報告されている。(CERIハートデータ集 96-4(1997))
吸引性呼吸器有害性 : データなし
その他 : 水及び酸、アルカリ化合物と反応して (加水分解)、下記の化合物を生成する
メタノール (有毒性あり : 経口 ラット LD50 : 5628mg/kg (RTECS))

12 環境影響情報

生態毒性 : データなし
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 焼却法

- ・焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。
 - ・少量の場合はおがくず、ウエス等に吸収させて開放型の焼却炉で焼却する。
- 焼却の際、シリカの微粉が生成しますので、適切な設備で焼却して下さい。
必要に応じて防塵マスク等の保護具を着用して下さい。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分すること。

本品を廃棄する際、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の他、地方自治体の条例等に従って下さい。

14 輸送上の注意

国連番号(品名) : 1993 (引火性液体類)

国連分類 : クラス 3. 2

注意事項 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

消防法 : 危険物 第四類 第一石油類 (非水溶性) 危険等級II

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 法第57条の2(令第18条の2)名称等を通知すべき有害物 No. 407 (トルエン)
令別表第一の4 引火性の物

有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤 (トルエン)

化学物質管理促進法 (PRTR法) : 第一種指定化学物質 トルエン 改正前No.227、改正後No.300

16 引用文献

化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編 (1991)

製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/>

国際化学物質安全性カード(ICSC) <http://www.nihs.go.jp/ICSC/>

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があるため、取扱いには細心の注意が必要です。

御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

また、特別な取扱いをするときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施して下さい。